

第 8 回

トマト・キュウリ サミット

高品質・安定多収生産のヒントがザックザク

とき 2018年1月30日(火)・31日(水)

ところ 東京・江戸川区タワーホール船堀

1. 趣 旨

本サミットは、第一線で活躍している全国のトマト・キュウリの生産者・経営者に参加いただき、生産・販売・経営の諸問題解決に参考となる新技術や事例等を紹介し、安定的なトマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的に開催します。今回は、「高品質・安定多収生産のヒントがザックザク」のテーマで経営発展に生かせる事例を紹介します。

2. 主 催 全国野菜園芸技術研究会、トマト・キュウリ サミット実行委員会

3. 後 援 農林水産省、一般社団法人日本施設園芸協会、J A全農

4. 特別協賛 (株)農協観光

5. 期 日 2018年1月30日(火)～1月31日(水)

6. 会 場 タワーホール船堀 5階 大ホール
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 (Tel. 03-5676-2211)
(都営新宿線船堀駅北口から徒歩1分)

7. 日 程 (一部演題は予定)

1日目 講演・事例報告会：1月30日(火)

12:00～ 開場 機器資材展見学

13:00～13:20 開会 主催者挨拶
来賓祝辞

13:20～13:45 基調講演 野菜需要・生産の動向とこれからの施策・技術開発 (仮)
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室

13:45～14:35 特別講演 野菜とミネラルと健康
(一社)食と農の健康研究所 理事長兼所長 渡辺和彦 氏

- 14:35～15:00 休憩・展示会见学
- 15:00～15:20 事例発表 農家と歩んだトマトづくり
栃木県さくら市 元栃木県専門技術員 大竹勝次 氏
- 15:20～15:40 事例発表 土壌伝染性病害の防除対策（接ぎ木、土壌消毒）
新潟県農業研究センター基盤研究部 前田征之 氏
- 15:40～16:00 事例発表 低濃度エタノールを利用した土壌還元消毒
新潟県新潟市西蒲区 大滝哲 氏
- 16:00～16:30 賛助会員から新技術・新製品紹介
- 16:30～17:00 休憩・展示会见学
- 17:00～17:20 事例発表 地元消費者に合わせたトマトブランドの確立
静岡県牧之原市農業生産法人(株)トマトトップ 山本恭平 氏
- 17:20～17:50 事例発表 トマト産地の持続的発展と若手生産者による協業組織
千葉県一宮町 J A 長生施設野菜部会
農事組合法人長生フロンティアファーム 石井理永蔵 氏
- 17:50 1 日目閉会
- 18:10～20:00 交流・懇親会（タワーホール船堀 1 階 キリンシティ）

2 日目 講演・事例報告会：1 月 3 1 日（水）

- 09:00～ 開場、機器資材展見学
- 10:00～10:50 特別講演 農業における光の利活用
(一社)農業電化協会 代表理事 田澤信二 氏
- 10:50～11:20 事例発表 再点検ハウスの管理・補修・改良
講師依頼中
- 11:20～11:40 事例発表 自分流ハウス軒高化メンテと高収量栽培
神奈川県藤沢市渋谷農園 渋谷康宏 氏
- 11:40～12:40 休憩・昼食・展示会见学
- 12:40～13:10 事例発表 キュウリ産地に新規就農者を呼び込む地域戦略
徳島県 J A かいふ 営業部長 豊田穂 氏
- 13:10～13:40 事例発表 次世代園芸実験ハウスにおけるキュウリ養液栽培の技術開発
徳島県美波農業支援センターリーダー 清水昇 氏
- 13:40～14:10 賛助会員から新技術・新製品紹介
- 14:10～14:30 事例発表 トマトの基本を重視した高収量栽培
神奈川県藤沢市 和田政行 氏
- 14:30～14:50 事例発表 低軒高ハウスにおけるトマト 3 段摘心の高収量栽培
栃木県栃木市柏崎農園 柏崎弘行 氏
- 14:50 閉会

8. 参加費等
- A. 1日目と2日目の両日に参加…………… ¥6,000.-
 - B. 1日目のみ参加…………… ¥4,000.-
 - C. 2日目のみ参加…………… ¥4,000.-
 - D. 交流・懇親会に参加…………… ¥5,000.-
 - E 1. 宿泊(くれたけイン東京船堀・シングル・朝食付・45室) ¥8,000.-
 - E 2. 宿泊(東横イン神田秋葉原・シングル・朝食付・15室) ¥8,000.-

9. 参加申込方法

- ・下記の申込先に参加申込書を送付の後、速やかに下記の指定口座に送金して下さい。
- ・参加申込書は、全野研ホームページ<http://www.zenyaken.com> のトマト・キュウリ サミット開催案内にも用意してありますので、ダウンロードしてお使いください。

10. 参加申込先 農協観光Nツアーコールセンター 12月15日受付開始

- ・Eメール：callcenter01@ntour.co.jp FAX：0986-21-4175
- Eメールは、必ず、件名の先頭に都道府県と参加する方の氏名をお書きください。

11. 参加費等送金先 三井住友銀行 神田支店 普通口座 No. 2911186
 口座名=全国野菜園芸技術研究会 会長 大山 寛
 (恐れ入りますが振込手数料のご負担をお願いします)

12. 締切等 農協観光Nツアーコールセンターの受付は1月23日(火)まで行います。以降の参加申込は、下記の全野研・東京事務所へお問い合わせ下さい。

- 1月15日(月)以降に参加を取り消す場合、参加費等は返金いたしません。代理の方の参加をお願いします。
- 1月10日(水)以降に宿泊予約を取り消す場合、下記の取消料が掛かります。当日:100%、前日:80%、2~9日前:20%、10~20日前:10%

13. 問い合わせ先 全国野菜園芸技術研究会 東京事務所

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-21 (日本農民新聞社・園芸情報センター内)
 電話：03-3233-3634 Eメール：tomaQ@zenyaken.com

14. その他

- ・参加申込時に入金いただけない場合は、請求書を発行しますので、参加申込書に請求書の宛名・日付・但し書き、ほか必要な事項を漏れなく記入して下さい。
- ・領収証が必要な場合は、全野研ホームページの第8回トマト・キュウリ サミット開催案内にある「領収証入力用紙」に必要な事項(宛先、日付、但し書き等)を入力し、Eメールで、件名に「参加する方の都道府県・氏名と領収証希望」と入力して、tomaQ@zenyaken.com へ送信して下さい。

■会場最寄駅の都営新宿線船堀駅から「タワーホール船堀」までの案内図



(様式1) 第8回 トマト・キュウリ サミット 参加申込書

申込先：(株)農協観光 Nツアー・コールセンター

申込日：平成 年 月 日

Eメール：callcenter01@ntour.co.jp

FAX: 0986-21-4175

フリガナ		所属 JA ・所属先 ・部署等
代表申込者 氏名		
電話番号		ご住所 ※都道府県名より記載下さい。書類の送付先となります 〒
FAX 番号		
メール		

※下記の内容をご確認の上、参加を希望される区分に○印をお選びください。

注1：参加区分欄は、右の数字をご記入ください。1 野菜生産者 2 農業団体 3 行政機関 4 農業関連企業 5 その他

注2：受付で配布する参加者名簿に県名と氏名を記載しますので、記載を希望しない場合は、名簿可否欄に×を記入ください

NO	ふりがな 参加者氏名	参加 区分 注1	名簿 可否 注2	大会参加			交流会 D	宿泊 E	料金合計
				A 両日	B 1/30のみ	C 1/31のみ			
				6,000円	4,000円	4,000円			
記入例	とうかき ひさとし 唐柿 久利 (男・女 年齢(50))	1		○	×	×	○	1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	19,000円
1	男・女 年齢()							1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	
2	男・女 年齢()							1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	
3	男・女 年齢()							1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	
4	男・女 年齢()							1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	
5	男・女 年齢()							1) くれたけイン東京船堀 2) 東横イン神田秋葉原 (喫禁)	
※6名以上の場合は、複数枚に分けてお申込みください。								料金総合計	

【お支払に関して】

参加申し込みと同時に、大会案内に記載された指定の口座までお振り込みください。

送金される際のご名義と送金予定日のご記入をお願いいたします。なお、請求書が必要な場合は以下の「*」項目もご記入ください。

参加費送金時の名義 (カタカナ)		*請求書の宛名	
参加費送金予定日	月 日	*請求書の日付	月 日
*その他必要書類		*但し書	

事務局記入欄